



脳とリハビリ研究所（CBR）臨床教育セミナー Ver. 1.1

神経行動科学に基づく臨床推論

～治療へ繋げるクリニカルリーズニング～

2015年5月17日（日）

神戸学院大学有瀬キャンパス

主催：脳とリハビリ研究所

運営：株式会社ステラマインド

講師プロフィール

永井 豊美

Physio Study Kyoto 代表 理学療法士



【プロフィール】1985年京都大学医療技術短期大学部卒業。理学療法士。京都専売病院、京都市衛生局、京都堀川病院、琵琶湖大橋病院、河端病院等を経て現職。卒後、徒手療法の代表的なコンセプトであるノルディックシステム、パリスコンセプト、オーストラリアンアプローチ等の研修コースを修め、主として整形外科疾患の理学療法に携わる。またクイーンズランド大学にて臨床推論（CR）の基本を習得する。現在はCRに基づく徒手の理学療法を臨床実践する傍ら、Physio Study Kyoto 主催のセミナーにて講師を務める。2014年に開催された第2回日韓合同カンファレンスでは、CRをテーマにした一般演題にて優秀賞を受賞。訳書（分担）：骨盤帯（原著第4版）、Diane Lee：The Pelvic Girdle 4th ed. エルゼビア（第8章）。

坂本 年将

神戸学院大学総合リハビリテーション学部理学療法学科 准教授



【プロフィール】1989年3月神戸大学医療技術短期大学部卒業。同年4月より同大医学部附属病院理学療法士。股関節の臨床研究に従事する。1994年ニューヨーク州立大学修士課程（専攻：exercise physiology）に留学。1995年ニューヨーク州理学療法士免許取得。1997年コロンビア大学生物行動学科修士課程に転学。運動制御・運動学習理論を修める（MA；専攻：運動学習）。1998年MIT脳認知科学科博士課程に進学。脳科学・認知科学を幅広く学ぶと共に、関連づけ学習の神経生物学的研究に従事する。2004年PhD（専攻：神経科学）。2007年4月より現職。脳とリハビリ研究所（CBR）ディレクター。神戸学院大学ニューロ・エデュケーション研究室主宰。今回、神経行動学的観点から当セミナーをプロデュース。

プログラム

10:00～10:30 開場・受付

10:30～11:15

クリニカルリーズニングの基礎（永井）

11:15～12:00

神経行動科学に基づく臨床推論（坂本）

12:00～13:00

グループワーク I ー課題の提起（永井・坂本）

13:00～13:45 休憩

13:45～15:00

グループワーク I ーリーズニング（永井・坂本）

15:15～16:30

グループワーク I ー実技（永井・坂本）

16:30～17:00

対談：リーズニングの科学と臨床ー神経行動学的観点から（永井・坂本）

17:00～17:30

質疑応答（フリー・コミュニケーション）

17:30 閉会

17:30～18:30

特別プログラムー治療実演（永井）

*セミナー参加者でご自身の治療を希望される方がいる場合に実施します